

(仮称) 泉大津市教育施設再配置計画の進捗について (報告)

1. 計画策定の趣旨

泉大津市公共施設適正配置基本計画の見直しにあたって、教育施設のあり方についても改めて検討する必要がある。

検討にあたっては、公共施設適正配置基本計画の基本方針に沿って、施設の総量圧縮や複合化・多機能化を念頭にしながら、本市の将来を見据えるとともに多様化するニーズや教育施設が担う役割、老朽化の問題や利用実態などを踏まえ、教育施設の再配置を検討する。

その中で、コミュニティスクール等の仕組みをはじめとする、学校と地域の連携・協働による「地域とともにある学校づくり」を進めるために、学校教育施設としての役割を前提にしながら、社会教育施設としても活用することを想定した「地域交流ゾーン」の整備方針と併せて総合的に検討を行う。

以上の考え方を踏まえ、市民ニーズや利用実態などについて意見を聴取しながら、限られた資源の中で考えうる、効率的・効果的な教育施設再配置に係る計画を令和3年度から2カ年かけて策定する。

2. アンケート調査

目的：本調査は、「(仮称) 泉大津市教育施設再配置計画」の策定に係る参考意見として、既存の教育施設の現状や課題、市民ニーズなどについて、広く市民の意見、意向を聞くことを目的に実施。

対象：無作為抽出した、泉大津市在住の16歳以上の市民2,000人を対象に、郵送により調査票を配布。回答方法は、郵送またはWEB上のアンケートフォーム。

時期：令和3年8月23日～令和3年9月21日

回収状況：

発送数	回収数	回収率
2,000件	725件 (うちWeb回答：132件)	36.3%

3. グループインタビュー

目的：アンケート調査による定量的な意見集約に加えて、社会教育施設利用者や児童・生徒に対して、施設の利用実態や地域交流ゾーンについての具体的な意見等を聴取することを目的に実施。

対象：南北公民館・勤労青少年ホーム利用者、市民活動支援団体、小中学生

時期：令和3年9月～10月

4. ワークショップ

目的：既存の教育施設の現状や課題、市民ニーズ、今後の方向性などについて、様々な立場の人が集うことによって意見交換を行い、計画策定に活かすことを目的に、「市民みんなの未来の学びの場を考えるワークショップ」と題し、合計4日間、各回午前・午後の延べ8回開催。

対象：社会教育施設利用者・市民活動団体・学校関係者・自治会関係者・公募市民

合計：44名×4日間

日程：第1回 10月23日（土） 午前・午後 テクスピア大阪

テーマ：「教育施設について知ろう」

第2回 11月20日（土） 午前・午後 条南小学校図書室

テーマ：「教育施設に対する認知度・関心度を高めるには？」

「みんなに利用してもらうため、かつ満足度を高めるための工夫は？」

第3回 12月18日（土） 午前・午後 旭小学校多目的室

テーマ：「未来の学びの場のあり方（案）について」

第4回 1月29日（土） 午前・午後 旭小学校多目的室

テーマ：「ワークショップの振り返り」

5. 総合教育会議

日程：令和3年度第1回 令和3年 8月18日（水）

内容：「教育施設配置検討業務について」

令和3年度第2回 令和3年 12月22日（水）

内容：「教育施設配置検討業務の進捗状況について」

6. 社会教育委員会議

日程：令和3年度第1回 令和3年 6月11日（金）

内容：「教育施設配置検討業務の進捗状況について」

令和3年度第2回 令和3年 11月22日（月）

内容：「教育施設配置検討業務の進捗状況について」

7. 今後のスケジュール

令和4年2～4月 教育施設再配置の方針の検討

5～9月 各施設整備プラン・事業手法の検討、概算事業費の試算

9～10月 計画案の作成

12月中旬～ パブリックコメントの実施

令和5年 2月～ 最終とりまとめ

◆総合教育会議・教育委員会会議・社会教育委員会議にて継続して協議を行う。